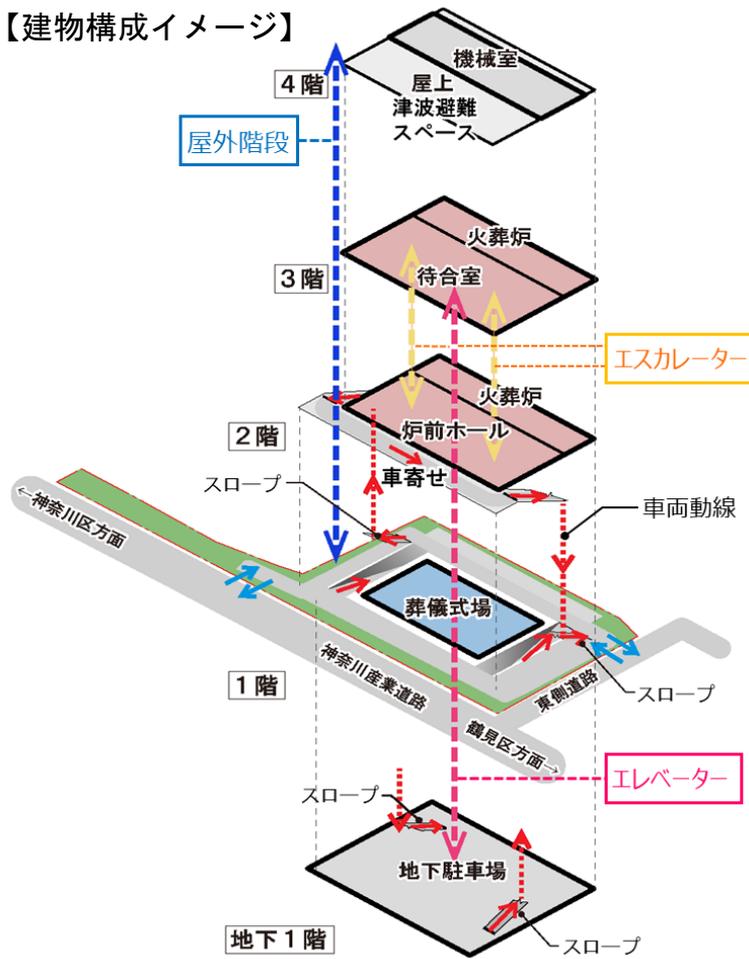


## ◆建物の設計状況について

東部方面斎場（仮称）整備事業では、11月に基本設計を完了し、今後は実施設計に着手します。今回は、基本設計の概要をご報告します。

斎場の【建物構成イメージ】や【建物の規模】等は、以下のとおりです。

### 【建物構成イメージ】



### 【建物の規模】

- ・延床面積 約 22,000 m<sup>2</sup>
- ・階数 地上4階／地下1階

### 【各階の主な配置】

- 4階：機械室、津波避難スペース
- 3階：待合室
- 2階：火葬炉、炉前ホール、車寄せ
- 1階：葬儀式場
- 地下1階：駐車場（1階とあわせて150台）

### 【各階へのアクセス】

- ▶ 来場車両はスロープで地下1階の駐車場、2階の車寄せまでアクセス
- ▶ 斎場利用者の移動は、地下1階から3階までエレベーターで上下移動
- ▶ 火葬部門の2階と3階の間には、エスカレーターも整備
- ▶ 津波発生時には外部から屋上へアクセスできる屋外階段を設置

### 【設計にあたっての取組み】

#### ●環境への配慮

- ・建築物の省エネ性能を高めるため、高効率型機器の採用
- ・環境への負荷低減を図るため、太陽光発電や地中熱等の再生可能エネルギー利用を導入
- ・木質化の取組や、既存公園と連続した緑地の整備による生物多様性保全への配慮

#### ●災害対策

- ・高潮の浸水に備え、1階床レベルを既存地盤から約1m高く設定
- ・火葬炉や受変電設備等の重要機器を津波による浸水深以上に設置
- ・都市ガスや電力等のインフラが途絶した場合に備え非常用発電機等の対策検討
- ・津波発生時に、利用者や周辺の方々の一時的な避難施設として活用できるよう、屋上に避難スペースを確保し、斎場外部からアクセス可能な屋外階段も設置

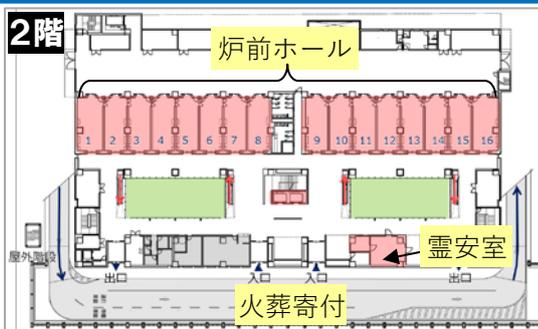


【参考】横浜市役所の太陽光パネル  
(横浜市新市庁舎紹介パンフレットより)

## 🔦 平面図をピックアップ🔦

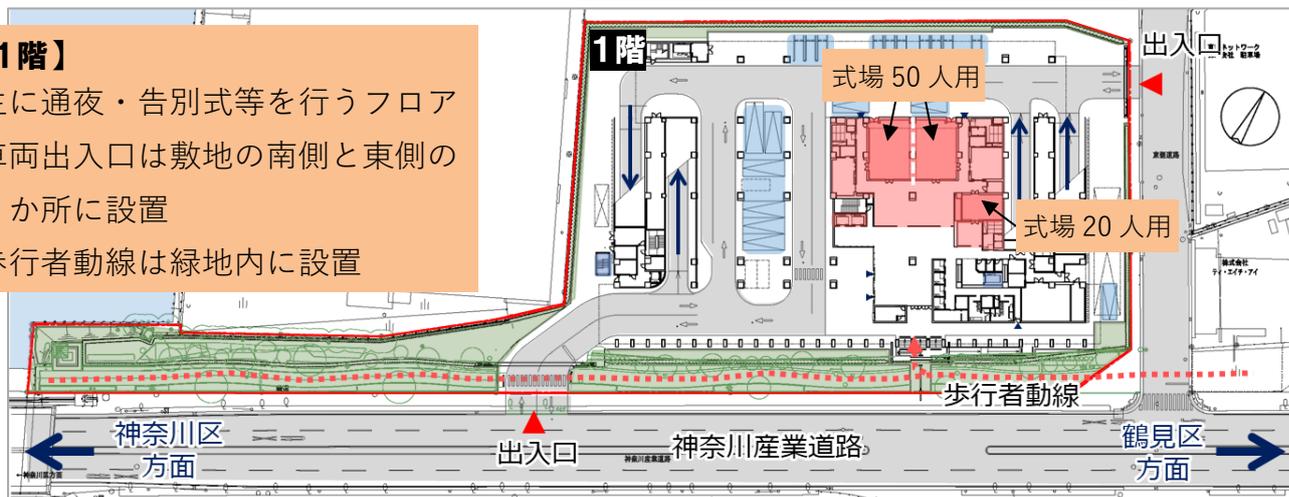
### 【2階】

- ・主に火葬を行うフロア
- ・火葬炉を一行に配置し、  
1 炉に対し炉前ホールを 1 室整備
- ・霊安室も設置



### 【1階】

- ・主に通夜・告別式等を行うフロア
- ・車両出入口は敷地の南側と東側の  
2 か所に設置
- ・歩行者動線は緑地内に設置



※敷地の配置図・各フロアの平面図を全てご覧になりたい方は、ホームページ掲載の令和3年度説明会資料をご覧ください。

## ◆説明会のご報告

新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度に引き続き動画配信形式で実施しました。

＜配信期間＞令和3年10月25日（月）～11月24日（水）

＜主な質疑内容＞

○周辺の道路交通状況は朝夕混雑が激しく、大型車両の出入りも多い。この上斎場が建設されると更に交通渋滞が激しくなり、交通事故を誘発する事態になりかねない。どのような対策を講じるのか。

- 令和元年度に実施した交通量調査により、周辺道路の朝夕の交通量が多いことは把握しています。
- ・斎場への来場車両約440台/日（※）が周辺交通へ与える影響について分析したところ、斎場へのアクセスルート沿いの交差点いずれも、周辺交通に与える影響は少ないとの結果が得られました。
- ・また、運営面の工夫として、現行の斎場よりも受付時間を細分化し、来場車両の分散を図ります。加えて、斎場敷地内には駐車場150台を設けるほか、敷地外にも臨時駐車場を設け、会葬者による駐車待ちや路上駐車が発生し、周辺交通へ影響を与えないようにします。

※火葬件数が最も多い時期（1月）の9時～21時（12時間）の想定台数

## ◆今後のスケジュール（予定）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5～7年度	完成 (令和7年度)
設計・工事		基本設計	実施設計 土木工事	建築工事	
各種手続		都市計画手続	火葬炉設備工事 経営許可手続		

事業の進捗状況は、この「整備通信」や説明会の開催、ホームページなどを通じてお知らせしてまいります。

東部方面斎場

検索